

< (表) 補助対象事業 >

分野	番号	補助対象事業
子育て	1	子どもや地域を通じて保護者の交流のきっかけを作る取組
	2	「ミニ・ミュンヘン」のように、子どもたちだけでまちや商店街を運営する取組等を大学生が入って企画運営することにより、「地域の中に子どもがいることが当たり前」という意識をつくり、若い世代が持つ結婚や子育てに対するポジティブなイメージを広げる取組
	3	子どもが大学生とともに、文化芸術に親しむ取組や、農山漁村地域において多様な世代の住民との交流や体験活動を促進する取組を展開することにより、地域の歴史や文化、暮らしに対する理解を有し、地域への愛着や誇りを持つ、心豊かな子どもを育む取組
商店街	4	商店街関係者と商店街に関心がある大学生やU I J ターンの若者が、互いの知識やアイデアをもって連携し、商店街運営や地域課題を解決するための取組
	5	デジタルネイティブ世代である学生と連携した商店街のD X推進（S N S 活用などの情報発信力強化等）の取組
観光 (交流)	6	京都府域において、地域資源を活用して大学生が自ら実現したい持続的な交流を促進する新たな取組
	7	2025 年大阪・関西万博の開催や文化庁京都移転を契機とした京都府域における新たな観光コンテンツを創出する取組
	8	大学生が地域の観光資源に触れ、地域の人との交流の機会をもつことで地域の魅力を感じるとともに、その魅力を同世代の大学生に共有する取組
	9	山陰海岸ジオパークや自然公園等の自然風景地を保全し、ガイドツアーやビジターセンター等により地域の魅力を発信することで利活用を進める取組
防災・防犯	10	様々なコミュニティを活用した新しい視点での防犯活動の仕組みを提案する取組
	11	犯罪被害者等支援について、府民全体が理解を深めるための様々な世代に対する効果的な広報啓発の取組や、ホンデリング（古本の売却による収益を犯罪被害者支援センターの活動の資金に充てる取組）の活動の拡大を図るための取組
	12	若年者に多い消費者被害について、大学生が若年者を対象に情報発信等の啓発活動を行うことで、消費者被害等防止について自ら学ぶとともに消費者教育の担い手になる取組
	13	消防団等と連携した防災啓発活動や、地域のハザードマップ作り、非常食のレビューなど、大学生が主体となって防災啓発活動を行う取組

過疎地域・ 農山漁村	14	農地等の保全や生活交通等地域基盤の維持のため、地域共同活動の合理化や省力化を進める取組や、収益確保に向けた特産品開発・販売等のビジネスの立ち上げなど、農山漁村地域の維持・活性化を図る取組
	15	農家所得の向上及び食料の安定供給に資する、味噌や日本酒等の府内食品産業と連携した取組
環境	16	地域資源を生かした持続可能なまちづくりを支援し、府内各地にゼロカーボン地域を創出するため、営農型太陽光発電など、地域課題の解決や経営支援につながる再エネ導入のモデル地区形成を支援し、府内各地へ展開する取組
	17	3R技術を活用した廃棄物の再生利用など、産学公連携によるゼロエミッションを推進するため、代替プラスチック製品や3Rが容易な製品の開発・普及を支援する取組
	18	府内の生物多様性に係る保全活動を支援する取組
地域振興 (丹後)	19	災害に強く、人権が尊重され、誰もが元気に住み続けることができる安心・安全な地域づくりを推進する取組
	ア	災害に強い安全な地域の構築
	イ	安心して暮らせる地域づくり
	ウ	人権を尊重し、誰もが輝ける地域の実現
	エ	元気に住み続けられる環境の整備
	20	地場産業の発展や新たな産業の創造など、地域が誇りを持てる活力ある産業づくりを推進する取組
	ア	「海の京都」構想の更なる深度化
	イ	ものづくり産業等地域産業の振興
	ウ	「食」や「暮らし」を支える農林水産業の振興
	エ	地域産業を支える基盤整備
	オ	事業継続・継承の支援や新たな起業の促進
	21	地域を支え、その活力の源となる人材の確保・育成を進めるとともに、誰もが活躍できる地域づくりを推進する取組
	ア	移住・定住や地元への若者の定着の促進
	イ	地域企業等と連携した人材の確保・育成
	ウ	誰もが能力を発揮できる環境づくり
	エ	丹後の未来を担う人づくり
地域振興 (中丹)	22	人権尊重や子育て環境整備、地域産業振興によりU I ターン等で若者が定着する持続可能な地域づくりを推進する取組
	ア	U I ターン等により若者等が暮らし続けたい環境整備
	イ	人権が尊重され子育てにやさしく安心して暮らせる環境整備
	ウ	地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

	23	地域資源や交通・交流基盤を活かした人流・物流拡大による絆と交流の地域づくりを推進する取組
	ア	自然や地域文化等の地域資源を生かした交流の拡大と関係人口の創出
	イ	地域の食など特産品の魅力向上を通じた交流の拡大と関係人口の創出
	ウ	京都舞鶴港海外航路等の活用による人流・物流の拡大
	エ	人流・物流等を支える交通ネットワークの整備
	24	災害への対応力強化や暮らしの環境整備などによる安心・安全に暮らせる地域づくりを推進する取組
	ア	災害に強い社会基盤整備
	イ	災害対応力の強化
	ウ	安心して暮らせる環境整備
	エ	万一に備えた原子力防災対策の充実
地域振興 (南丹)	25	京都丹波の地域資源を生かした観光や移住・定住の推進による交流・活力のまちづくりを推進する取組
	ア	豊かな自然・歴史文化や食、木材など京都丹波ブランドの更なる魅力発信
	イ	スポーツ資源等を生かしたまちの賑わいづくり
	ウ	オール京都丹波による移住・定住の取組推進
	26	人権が尊重され、子育て世代にも魅力があり、誰もが希望をもって元気に暮らせる地域づくりを推進する取組
	ア	「子育て環境日本一」の京都丹波の実現
	イ	女性や高齢者、障害者等誰もが生き生きと暮らせる地域づくり
	ウ	地域資源等を生かした健康長寿の地域づくり
	27	明日の京都丹波産業を担う人づくりを推進する取組
	ア	教育機関や地元企業、関係団体等と連携・協働した人材育成・確保
	イ	特色ある高等教育機関の集積や立地条件を生かした商工業振興
	ウ	京都丹波ブランドを支える特産農産物等の生産拡大・品質向上
	28	交流と安心・安全の基盤づくりを推進する取組
	ア	京都縦貫自動車道からのアクセス道路の整備促進
イ	桂川等の河川整備など災害対策の推進	
ウ	暮らしの安心まちづくりの推進	
地域振興 (山城)	29	新名神の全線開通を見据え、それぞれのエリア特性に応じた地域づくりを推進する取組
	ア	木津川右岸地域整備の計画的推進
	イ	けいはんな学研都市と木津川右岸整備が車の両輪となった京都イノベーションベルトの形成
	ウ	相楽東部の未来づくりの推進
	エ	京都市近郊の都市エリアの未来への更なる発展に向けた都市機能等の充実

	30	暮らしを支え、災害に強い持続可能な安心・安全の基盤づくりを推進する取組
	ア	防災・減災対策の強化
	イ	暮らしの安心・安全の確保
	31	子育てや長寿の安心を確保し、人権が尊重され、誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現に向けた取組
	ア	安心して子育てできる環境づくり
	イ	高齢者が活躍し安心して暮らせる地域づくり
	ウ	人権の尊重
	エ	誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現
	32	やましろ産業を地域の未来を支える柱へとパワーアップさせる取組
	ア	やましろ産業のイノベーション
	イ	宇治茶・京やましろ新鮮野菜の生産振興・消費拡大による魅力ある農業の確立
	ウ	お茶の京都DMOを核にした周遊・滞在型やましろ観光の新展開